

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日:令和 2 年 2 月 28 日

公表:令和 2 年 3 月 12 日

事業所名 放課後等デイサービスGlanz

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		定員を満たすと少し狭く感じる為、その都度、机等の配置を変え広く使用できるようにしていく。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	人員基準に基づきながら利用者人数や支援内容に応じて調整している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	絵カードや文字カードを掲示し視覚的に情報伝達がしやすいようにしている。	玄関・トイレ前のみ段差があるため、使用する際は職員が必要に応じて援助していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	月例会議で定期的に行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0		保護者様の意向を受けて改善し、実践につなげるようにしていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1		改善し、実践につなげるようにしていく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	外部研修に積極的に参加している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	定期的に調査票やモニタリングにて保護者のニーズ踏まえ立案している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	初回に全職員確認し、使用しながら支援に繋げている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	複数人でプログラムを考案し、意見交換している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	打ち合わせを行い、曜日固定にならないようにし、様々な体験ができるようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0	日ごとにプログラムをきめ細かく設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	主に学習と集団活動を組み立て作成するようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	朝礼を行い、確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	終礼ミーティングを行い記録を残すようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	終礼ノートや連絡帳を使用し毎日記録し改善に努めている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	0	定期的にモニタリングを行い保護者のニーズ踏まえ立案している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	0	基本活動のねらいと予想される場に準じた支援を行っ		

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	担当者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	学校と随時、情報共有し必要であればすぐに電話にて対応し調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1		現在医療的ケアが必要な子どもや重症心身がいのある子どもは通っていないが今後そういった子どもを受け入れる際は連携していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1		相互理解に努めているが園によってできていないところもある為、積極的に共有できるようにしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1		これまで学校や障がい福祉サービス事業所へ移行するお子様がいなかったため今後は行っていく予定である。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	定期的に会議に参加し助言等受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3		今後検討して交流できる場を設けていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2		一部職員のみ参加している為、情報共有を全職員と行うようにする。
保護者 への説明 責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	送迎の際や電話、メールにて保護者とお子様の状況や課題について伝え合う機会を設けている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2		連絡帳や日々の利用者様の様子を伝えながら行っているが面談形式で支援を行うことを検討している
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時に分かりやすく丁寧に説明をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	迅速に対応できるように心掛けています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	0	親子体験を通して行うようにしています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	精神誠意受け止め迅速に対応し改善するよう心掛けております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1	SNSやHP、連絡帳にて行っています。	SNSやHPを知らない保護者様に今後お伝えしていきたいと思います。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	管理に関しては徹底して気をつけている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	絵カードや文字カード等視覚的補助を使用している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3		行っていない為、今後立案し検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	0	マニュアルを作成し、提示している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	毎月1日に訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	定例会議にて行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	0	定例会議にて行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		全職員把握し対応しているが医師との連携が図れるようにしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	作成し記録保管、ミーティング内で情報共有し改善をするようにしている	